

やまりん新聞



+ フ ラ ン ジ 小 ね じ

事務機器などに使用されている、(+)**フランジ小ねじ**の取り扱いを始めました。座面に円い**フランジ**が付いているため、締付け時に相手材についた傷が隠れて見えにくいというメリットがあります。

また、ねじの締付け時には**スパナ**だけでなく、**プラスチック**を使用することができるの



写真1 +フランジ小ねじ

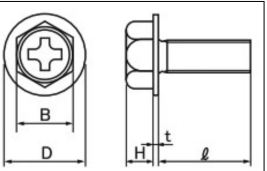


図1 +フランジ小ねじ図面

表1 +フランジ小ねじ規格(材質：鉄)

呼び径	ピッチ	十字穴の番号	B		D		H		t	
			基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差
M3	0.5	2	5		7		1.6		0.5	±0.15
M4	0.7		7	0	9	0	2.5	±0.1	0.6	
M5	0.8		8	-0.2	10	-0.4	3.0		0.8	
M6	1.0	3	10		13		3.5		0.9	±0.2
M8	1.25		12	0 -0.25	16	0 -0.5	5.0	±0.15	1.2	

(右上から)

3. M6ピッチ1.0mm(並目)**おねじ**とUNF7/16”-20山**おねじ**との組み合わせ【写真11】

4. M7ピッチ1.0mm(並目)**おねじ**とW1/2”-12山**おねじ**との組み合わせ【写真12】

4種類ともに、両側のねじに別々の部品を取付けて機械的な連結を行うために使用されます。

ね じ の 雑 学

昨今、機器の小型化により、従来よりも小型のねじを使用する頻度が増えてきたのではないのでしょうか。一般に市販されている**小ねじ**類では「0番小ねじ」と呼ばれている、**精密機器用十字穴付き小ねじ**がこれに該当します。

0番小ねじは、図2のように通常の**小ねじ**よりも**頭部**のサイズが小さい上に、M1.0(あるいはM1.4)からM2.6までの小径の**呼び径**に対応していま

で便利です。

写真2のように、**プラスチック**と**マクスドライブ**が使用できる(+)**フランジ小ねじ**もあります。

似たような形状の**小ねじ**に、十字穴付き**アプセット小ねじ**がありますが、これは**フランジ**が付いていないタイプです。

カスタム仕様の加工部品16

お客様のご要望にもとづき、製作させていただいた5種類の「**カスタム仕様の加工部品**」をご紹介します。5種類ともに、お客様ご指定の寸法に加工した**ビス・ボルト**類です。

【写真4】は**スリリ付き尖り先ビス**です。市販品では入手できない部品です。

【写真5】は**尖り先ハビス**で



写真2 +-フランジ小ねじ

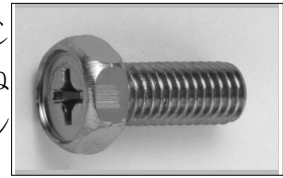


写真3 +アプセット小ねじ



写真4 スリリ付き尖り先ビス

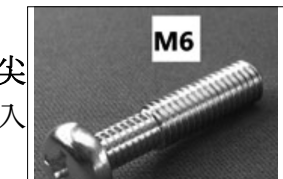


写真5 スミ付きハビス

首下に**スミ**を設けています。市販品でありそうな部品ですが、ちょうど良いサイズのものがいないため市販の**ビス**を追加工し**エクロメッキ**を施しました。

【写真6】は**バンジョウボルト**と呼ばれるボルトですが、寸法やねじサイズは市販では入手できないお客様オリジナルのサイズになります。

【写真7】は長尺の**ハビス**で首下180mmのM6 P=0.75(細目)です。

【写真8】は片ねじの**丸棒ボルト**で、特に丸棒の外周部は外観美を有しています。

お客様からの寸法のご指示にもとづく製作だけでなく、お預かりしたサンプルを採寸して、同等品の製作も承っております。専任のスタッフが対応させていただきますので、お気軽にお尋ねください。



写真6 バンジョウボルト

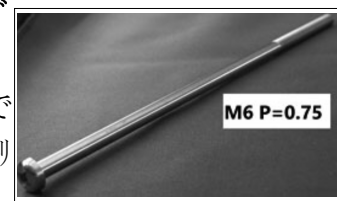


写真7 長尺ハビス



写真8 片ねじボルト

カスタム仕様の変換アダプタ15

お客様のご要望にもとづき、製作させていただいた「**カスタム仕様の変換アダプタ**」で「**メートル系おねじ**と**インチ系おねじ**の組み合わせ」の部品を4点ご紹介いたします。

下記URLに掲載のADCMMシリーズの**カスタム対応形**になります。

【<https://www.ymzcorp.co.jp/ym12/n-ejiadapter.html>】

お客様のご要望内容は、

1. M4ピッチ0.7mm(並目)**おねじ**とUNC#6-32山**おねじ**との組み合わせ【写真9】

2. M12ピッチ1.75mm(並目)**おねじ**とUNF3/8”-24山**おねじ**との組み合わせ【写真10】

（左下へ）

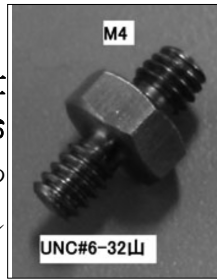


写真9 変換アダプタ1

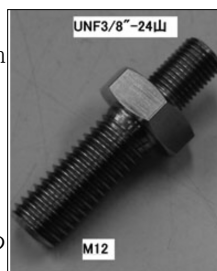


写真10 変換アダプタ2

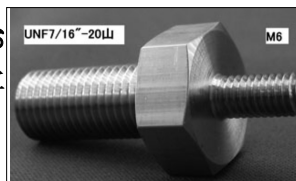


写真11 変換アダプタ3

ITへの扉(入門編) No.20

インターネットでウェブサイトを開覧するときには、パソコンの**ブラウザ(クライアント)**から**ウェブサーバー**に要求「**リクエスト**」を送り、サーバーはこの「**リクエスト**」に対してデータ処理を行い、結果を**クライアント**に「**レスポンス**」として返します。このとき使用される通信の取り決め(**プロトコル**)が**HTTP(HyperText Transfer Protocol)**というものです。通常「**リクエスト**」は、「**GET**」か「**POST**」のどちらかの**メソッド**で行います。

ちなみに、**ウェブページ**には、会社情報の**ページ**のように決まりきった内容を開覧する**静的ページ**と、**ショッピングサイト**のように**クライアント**からの「**リクエスト**」で商品を検索して、価格を表示する**動的ページ**があります。

動的ページの場合には、「**リクエスト**」に、例えば**商品コード**を含めて送信します。**動的ページ**を開覧しているときに、「**GET**」と「**POST**」のどちらで「**リクエスト**」したかを簡単に見分ける方法があります。サイトのURLで、下記弊社サイトの例のよ

うに、URLの後に、?マークが続き、name=00100010のような等号記号(URL**パラメータ**)がある場合には「**GET**」で**リクエスト**を送っていると考えられます。**弊社サイトの例**：https://www.ymzcorp.co.jp/ym12/cbrcd_search.php?name=00100010

「**GET**」の利点は、メール等にURLのリンクを貼り付けて、そのリンクをクリックすると、指定した**動的ページ**にアクセスできます。「**POST**」は、ユーザー情報を送信する時などに利用され、メッセージボディに付加されて送信されるので、上記「**GET**」のような使い方はできません。

また、当然の事ながら、**動的ページ**は、「**リクエスト**」を受け取って、データ処理し、「**レスポンス**」を返すような**プログラム**をサーバー側が備えている必要があります。

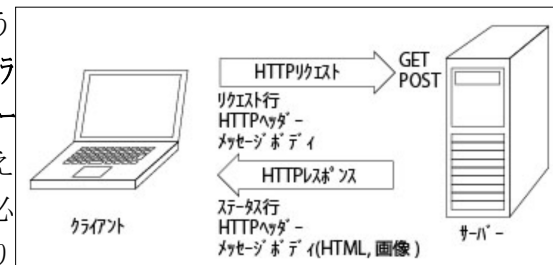


図3 HTTPによるウェブサイトの閲覧